

研究に関するお知らせ

(研究課題名：尿路感染症が高齢者に与える疾患負荷に関する後ろ向き観察研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターでは、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

また、研究の対象となる方、或いはご親族や代理人の方がこの研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

■研究目的・方法

尿路感染症は高齢者が頻回に罹患する疾患であり、感染症の中では肺炎に次いで高齢者の入院原因となっている。日本は未曾有の高齢化社会に突入しつつあり、今後尿路感染症による入院は増加すると予想される。尿路感染症が高齢患者と社会に与える影響を検討し、尿路感染症を予防することの重要性を明らかにするのが本研究の目的である。

研究の方法は、国立国際医療研究センター病院の入院患者カルテから必要な情報を入手し、それを解析する。

■研究期間

理事長承認日～2022年3月31日

■研究の対象となる方

2017年4月1日～2019年3月31日の間に尿路感染症で入院加療を受けられた20歳以上の方

■研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、入院期間、退院先 など

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創

性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者:

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 秋山 裕太郎

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

所属・役職:国際感染症センター 医師

氏名:秋山裕太郎

電話番号:03-3202-7181(代表)

住所:〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

■掲示場所・交付場所

- ・国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターの外来に掲示します。
- ・国立国際医療研究センター病院のホームページに掲載します。
- ・ご希望される方には本文書を送付いたします。